

理科部門

総評
本年度は、環境問題に関わる作品がさらに増えたように思います。社会全体の意識向上が子ども達の問題意識につながり、目的を持って研究に取り組んでいる作品が増えたことは喜ばしいことです。ただその一方で、自分の研究から何がわかるか、どのように考えることができるかという結論をしっかり示すことができていない作品が多く残感です。結論を示すためには、目的を見失わないこと、予測を立てること、分らないことをはっきりさせることなど、一つ一つをていねいにすることが大切だと思います。

賞 文部科学大臣奨励賞

生活排水と植物の成長

岐阜県 関市立富岡小学校 6年
塚原 能文

能文さんが小学校6年間の集大成として挑んだ「水から環境問題」を考えようという作品です。
最初の実験を踏まえてさらに別の着眼点で実験を行うなど、ていねいな「仮説→実験→観察→結論→疑問」の繰り返しによって、作品の説得力と広がりが増しています。所々に添えられている家族のコメントからは、応援している温かい家庭の様子があがります。



実験、観察、まとめの全てにおいてバランスよくまとめられた研究です。

賞 海外在住者賞

ありの美験

サンフランシスコ日本語補習校 小学6年

町田 和謙

賞 子どもの文化・教育研究所 理事長賞

おじいちゃんの家の庭は食材でいっぱい！ 食される野菜のかんたん料理実習と自家栽培

東京都 白百合学園小学校 3年
中西 るりな

膨大な数にのぼる植物を採集し、たんにに調査した大作です。
スケッチにより細部まで観察し、身近な生活の中で自分なりの発見ができていて、近年忘れがちな自然との共存にも目を向けさせてくれる作品です。



膨大な数の観察記録とスケッチに圧巻されます。

賞 優秀賞

飛べ！ほくのホバロ

神奈川県 葉山町立葉山小学校 5年

澤入 深太

ヘチマで夏をすすめ

東京都 白百合学園小学校 4年

友田 英里

賞 全国中学校理科教育研究会 会長賞

茅ヶ崎北陽学区の 自生樹木50種の花粉図鑑

神奈川県 茅ヶ崎市立北陽中学校 2年

棚田 俵多

花粉症をきっかけに花粉に興味を持ち、学区内で50種の植物を採集し、標本作成、観察を行った結果をまとめた、正に自作の図鑑です。
顕微鏡での観察をおもしろく感じたと、いう俵多さんの、今後の研究が楽しみです。



賞 日本初等理科教育研究会 理事長賞

水面からとび上がるボールのなぞ

岐阜県 関市立富岡小学校 6年

遠藤 勇太

ファイル3冊で構成されている力作です。結果もていねいにグラフ化されていて、とてもわかりやすくてまわられています。6年間毎年理科の研究してきたようですが、初めての1分野の研究で規則性を見つけてそこに楽しさを発見したによります。



着眼点がユニークな研究です。

賞 全国小学校理科研究協議会 会長賞

泡の発生に関する実験と研究

東京都 板橋区立板橋第一小学校 5年

森井 陸

「泡」という、見慣れているものに焦点を当てて様々な角度から「泡」についてよく調べています。実験の中から多くの発見をしたこと、研究することの楽しさも発見できたによります。



賞 中央出版株式会社 社長賞

地球温だん化とたたかう研究

東京都 葛飾区立綾南小学校 3年

加藤 太一

近年、問題になっている地球温暖化をテーマにした作品です。二酸化炭素濃度による温度変化の違いや、植物の有無と二酸化炭素吸収量の比較など、様々な実験を通して温暖化の原因と解決策を探り、エコ生活への意識を芽生えさせてくれます。



大きなテーマに取り組みがはかりました。